

令和元年度第2回加美町総合教育会議議事録

開催日時 令和2年1月28日（火曜日）
午前10時00分～午前11時45分

開催場所 加美町役場宮崎支所2階第二会議室

出席者 加美町長 猪股 洋文
加美町教育委員会 委員 大場 幸 同 委員 田中 美知子
同 委員 鎌田 稔 同 委員 大宮 信彦
同 教育長 早坂 家一

事務局 総務課長 佐藤 敬 教育総務課長 二瓶 栄悦
生涯学習課長 上野 一典
教育総務課長補佐 伊藤 一衛 同教育総務係長 越後 靖之
総務課長補佐 遠藤 伸一

議 題

- (1) 新たな教育等に関する大綱の策定について
 - (2) 令和2年度予算編成における教育施策について
 - (3) その他
-

午前10時00分 開会・開議

○佐藤総務課長

只今から令和元年度 第2回 加美町総合教育会議を開会致します。開会にあたりまして、猪股町長よりごあいさつをいただきます。

○猪股町長

令和元年度第2回加美町総合教育会議を開催しましたところ皆様方にはお忙しいところお集まりいただきありがとうございます。

教育関係を含め、課題山積であります。皆さんと知恵を出し合いながら力を結集して課題に取り組んでまいりたいと思います。

私は幼児教育が大きなカギを握っていると思います。就学前の時期が人格形成を経るうえで非常に重要な時期だと思います。一方で果たしてその時期に子どもたちが長い人生を生きぬくための力を身につくような保育・教育をしているのであろうか。学力向上は大事ですが、学力の基礎となる非認知能力をその時期にしっかりと養うことが重要だと思っています。そのためには様々な体験を子どもたちにさせる

ことが重要です。大人が或いは幼稚園の先生が言葉で子どもたちを動かそうとする。言葉で子どもたちの行動を規制しようとする。そういう保育・教育というものを変えていかなければならないと思っております。

AIの進展は待ったなしです。指示待ちの人間では高度成長期の大量生産、大量販売の20世紀型の経済・産業構造の中では指示待ちもよかったかもしれませんが、これからの時代は指示をするのは人間ですから、20世紀型の人材は21世紀には求められていないと思います。主体的にクリエイティブにそして仲間と協力しながら一つのを成し遂げていく。そういう人材が求められていると思います。

会社で新入社員に求める能力として第一がコミュニケーション能力だそうです。第二が主体性だそうです。未就学児の教育からそれを念頭において取り組まなければならないと思っております。

是非、今後とも皆さんの力をお借りしながら、一緒になって加美町の教育の向上、そして、加美町の子どもたちが加美町に対する郷土愛を育みながら、将来の加美町を担っていく人材を育成したいと思っております。

○総務課長

それでは早速議事を進めさせていただきます。議事の進行については猪股町長にお願いします。

(1) 新たな教育等に関する大綱の策定について

○猪股町長

私なりに基本理念と基本的な方針を考えさせていただきました。

完成形ではありませんので皆様のご意見をお伺いします。

○田中委員

幼児教育とか具体的でいいと思います。私教育委員になって12年になり色々なことを体験しておりますが一つ不安がありまして、先生方が元気がなく環境的に何に悩んでいるのか、病気になられる方もおりますし、一度じっくり話を聞いたほうがいいかなと思っております。人数も足りないのかなと思います。また、「食」が大事だと思っております。

○大宮委員

幼児教育・保育、幼小中教育の連携というのは大変重要だと思いますが、幼稚園の先生が不足している。資格があっても就かない。大変な仕事だからなのかと思います。大変な仕事なので見合った分の待遇をよくしていただければと思います。

それと方針2の「やり遂げる力」でなく、私はやり遂げなくてもいいのではと思います。「やり続ける力」でいいのかなと思います。

○猪股町長

保育士との関係ですが、ベテランと若い方々での考え方のギャップがあるようです。

それから待遇ですが非正規職員を全て正規職員にすることは財政的に不可能です。ただ新年度からは非常勤の方は会計年度任用職員ということになり、ボーナスの支給もありますので待遇は改善されます。

○鎌田委員

子どもたちに手を掛けすぎているなと思います。失敗させないようにとか、全て手厚く指導しているなという印象はありました。これでは主体性や自主性は養われなく、委員会でも何回か発言をさせてもらいましたが、そこは変えていかないと。我慢させる、失敗させる、悔しい体験をさせること、それをさせないようにしている。

基本理念は、前のほうが加美町のオリジナリティがでているなど、基本の方針は加美町の実態に即した方針なのかなと思います。

田中委員が先生方が疲れているというのは、全ての面で躓やいじめ対応、不登校など、本来の授業のほかにも時間を割けないようなので、先生方に授業に集中させるためにも、幼児期の躓とかしっかりやれば軽減されると思います。それを保育所や幼稚園に求めると今度はそちらが疲れ切ってしまうので、家庭でやるべきこと、地域でやるべきこと、幼稚園・保育所でやるべきことをしっかり明確にして、町として親の教育をしっかりやって、それが先生方の疲労感の軽減に繋がるのではないかと思います。

○猪股町長

今現在親が学習する機会はありますか。

○教育長

こども園だと保護者対象の講演会とか。意外と色々なことをやっても来てほしい保護者がこないとか。

それでは私からですが、基本理念ですが、町民憲章を読んでみて、やはりそこに込められたものはすごいものがあるなど。やはりこういう人を育てたいという思いがこの町民憲章にあります。私は、これは捨てがたいなと思います。この四行詩を全ての子どもたちがいつでも言えるように、そういう町民になってほしいなと思います。

幼児期の教育・体験、大人の関りが大事なのかなと思います。「三つ子の魂百まで」とありますが、幼児教育はこども園・幼稚園だけでやるのではなくて、基盤は家庭だと思います。園だけでなく、家庭もまき込んで連携を図りながら、どこかで親の学ぶ場を設けるだけでなく、まき込みながら一緒にやっていく。あとは地域でも家庭を支えていく。元々の大綱の方針に「学びのセーフティネット」とありますが、経済的に恵まれない家庭であったり、家庭環境に課題があったり、支援を必要とする子供であったり、何らかの理由で学校に行くことができなかったり、その子供たちが大人になり引きこもりの現象がでてくるのかもしれない。どんな環境にあ

っても、生まれても、育っても、どんな課題を抱えていても、学ぶ機会が与えられていて、将来的にきちんと社人として働ける。色々な形で逞しい人材を育てていく必要があるのかなと。そういう部分を方針の中に盛り込めていくといいのかなと思います。

○鎌田委員

今の親の傾向では自分の子が良ければいいと、やはり地域でも子供を育てるんだと、そして親として自分の子どもだけでなく、周りの子供も育てるんだという意識を付けることによってプラスになるのかなと思います。

○大場委員

中新田高校ですが、県立だからということではなく、町として存続させるためには国立音楽院もありますので、音楽に関わるようなコースがあったり、音楽の科として持っている県内の学校は常盤木高校しかないの、公立高校にあってもいいのかなと思います。加美町は音楽のまちで日本でも有名なバッハホールもありますので、そういうものも利用してやればいいのかと、それと、国立音楽院が協力し合って進めればいいのかと感じます。

あと町長の方針2で先ほど大宮委員からやり遂げなくてもいいのではということがありましたが、私は可能性に挑戦するには自己肯定感が非常に大事だと思います。目標が達成すれば新たな挑戦が生まれると思うので、自己肯定感を育成してあげるとするのは大事だと思います。

それと方針3ですが、基礎学力を強化するより、基礎学力を身に付けさせるのが大事だと思います。

○佐藤総務課長

今日の意見を踏まえて、年度内中にもう一回会議を開催させていただきます。

○猪股町長

それでは、皆さんの意見を加味しながら整理したいと思います。

(2) 令和2年度予算編成における教育施策について

(令和2年度教育委員会重点事業概要書等により説明)

【教育総務課関係】 二瓶教育総務課長より説明

学力向上のため指導主事の増員、中学校再編の担当も担う。1名増。

不登校対策で魅力ある学校づくり事業を全中学校区で展開、予算は国・県の予算で展開する。

教育環境の整備で小学校3校のトイレを全面改修と、国の経済対策で学校ICTの整備でインターネット接続環境の整備、中学校3校のタブレット端末整備を図る。

学校再編の準備期間の予算。

【生涯学習課関係】 上野生涯学習課長より説明

中新田公民館整備事業（新築工事、備品購入等）

松本家住宅茅葺替工事、大宮寺山門屋根修繕工事への補助金交付。

東北陶磁文化館の閉館及び作品移動準備、ふるさと陶芸館の作品受け入れに伴う準備作業。

○猪股町長

町の財政は非常に厳しい。地方交付税の特例加算がゼロになります。歳入が減るのは想定済みで、この17年間で職員数は100人以上減りましたが、公共施設は中々減らせない。200以上の公共施設がありますが、ほとんど20年以上経っているので修繕・維持管理費がかかります。公共施設の統廃合、教育施設も含めて個別計画を策定して減らしていかなければならない。公共施設の統廃合、転用、施設の民営化等も含めたコストの削減を図らなければならない。

あと心配なのはタブレットですが、これは国の補助はありますか。

○二瓶教育総務課長

国では一人一台ということですが、実情としては3人に2台を補助すると、しかも上限4万5千円ということで、情報システム係と話していますが、現実として4万5千円で買えるパソコンはあるのかと、かなり町の持ち出しがでるなということで、国では令和5年度までに一人一台の環境を作りなさいということですので、4年間で考えていった方が良いのではということで、財政担当や情報システム係と調整しております。ただし、その前提となるがネットワーク、インターネットの接続環境で、今年度の補正予算で実施しなければ国としては一切面倒みないということで、このインターネット環境を改善しなければパソコンを補助しないということで、この二つをセットで国で打ち出してきているので、これはやらざるを得ないということで、財政担当と協議をしているところです。

○町長

あとは、公共施設個別計画を令和2年度で策定するわけですが、町の人口は2万3千人を切りました。国立社会保障人口問題研究所の今後の推計によると20年後、2040年には加美町の総人口は1万4千8百人まで減少すると推計されます。そうしますと、加美町の職員数は今280名程ですが1万5千人の町だと180名程の職員数となります。これから20年間で更に職員数を100名減らさなければならないということになります。そういうことを前提に組織に改編とか民営化とか、真に町職員がやるべきこと、やらなければならないこと、見直して整理しなければならない。公共施設、仕事もダウンサイジングをしていかなと、持続可能な町にならない。町としては何とか1万5千人で定常化できることを目標に考えていかなければならない。中・長期的な視点にたって考えなければなりません。

それでは、その他で何かありませんか。

○二瓶教育総務課長

今般、加美町立中学校再編検討委員会から答申が出ています。校舎の位置、再編

時期、再編後の学校づくり、安心安全で魅力ある学校づくりの答申を受けております。教育委員会としては、この答申に基づき明日の宮崎中学校を皮切りに各中学校と小学校の保護者、それから2月10日からは住民説明会を各小学校区単位で開催をし、答申内容についてご理解をいただきたいと考えております。

○佐藤総務課長

加美町公共施設等総合管理計画及び個別施設計画に係る進捗状況ですが、これまで説明しておりませんでした。簡単に説明させていただきます。背景として町長からもお話しがありましたが、これから更新時期を迎える中で、人口減少等により公共施設等利用需要も変化していくのではないかとということも含めて、施設全体の最適化を図る必要があります。そういうことで、公共施設の個別施設計画の策定が必要となり現在取り組んでいるところです。

加美町公共施設等総合管理計画の概要ですが、平成29年3月に策定しており、その時点では237施設で、40年間の計画としておりまして40年間で30%以上のコスト削減を図るということで、具体的には一つ目として施設の長寿命化、二つ目として総量縮減と施設配置の最適化ということで施設の統廃合について検討する。三つ目として維持管理コストの削減を図るということを掲げているところでございます。

個別施設計画が令和2年度までに策定することとしており現在進めているところです。役場の課長等で構成している部会や策定委員会で検討しておりますが、スケジュールで2月に概略をまとめたいと考えております。まとめたものを議会に説明しながら令和2年度に入りまして住民へ説明会も含めて令和2年度内に策定すべく現在進めさせていただいておりますので、よろしく申し上げます。

○佐藤総務課長

本日は盛りだくさんの内容で大変ありがとうございました。閉会にあたりまして早坂教育長より申し上げます。

○早坂教育長

長時間にわたりまして協議ありがとうございました。

大綱については、今日いただいたご意見をもとに基本理念、基本方針を事務局で修正しますので、それをあらかじめ次の総合教育会議の前に委員さん方に配付しますのでよろしく申し上げます。

また、来年度の予算編成についても各課・室から説明がありました。

将来を見据えたときに、人づくりにお金をかけるということは、将来的に行財政改革に繋がるのではないかと思います。

本日はご苦労様でした。